

令和3年度事業報告について

I. 概要

1. 令和3年度事業活動の概要

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、本県にも緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用されるなど、引き続き社会経済活動が制限される1年となった。

本会の活動においては、常に感染状況を注視し、感染が落ち着いている時期を見定め、委員会・研究会活動や講演会、セミナー等の事業に取り組んだが、事業によっては縮小や中止を余儀なくされたものもあり、当初の計画どおりに実施できないものがあった。

このような中であっても、会員各位の理解と協力により、委員会・研究会活動においては、令和元年度からの3年間の活動の成果を提言書や報告書に取りまとめることができた。

令和3年度の決算については、経常収益の合計65,998,346円に対し、経常費用は51,302,203円であり、このうち、公益目的事業収入は32,773,797円、同費用は32,037,719円となった。

この結果、経常費用に対する公益目的事業費用の割合は62.4%となり「公益社団及び財団法人の認定に関する法律（以下「法」）」に定める公益目的事業比率

（50%以上）の要件には適合したが、新型コロナウイルス感染拡大により、公益目的事業の一部中止や規模縮小を余儀なくされ公益目的事業の経費支出が抑えられたことにより、法が定める収支相償（公益目的事業に係る収入が、その実施の費用に要する適正な費用を償う額を超えないこと）の要件を満たすことができなかった。

2. 委員会事業の運営

公益目的事業の大きな柱である委員会事業では、委員会及び研究会が栃木県の発展と活力ある産業界の醸成を図ることを目的に、地域社会の抱える様々な経済問題や社会問題をテーマに設定し、令和元年度から3年間にわたり調査・研究活動を行った。その成果として、4つの委員会が提言書を、5つの委員会・研究会が報告書を取りまとめた。

3. 社会貢献事業の運営

委員会事業と並ぶ公益目的事業として、下記のとおり社会貢献事業を実施した。

(1) ボランティアプロフェッサー事業

大学コンソーシアムとちぎとの協定に基づき、宇都宮大学（大学院を含む）、作新学院大学及び白鷗大学の3校へ延べ17名の講師を派遣した。

(2) 講師派遣事業

小中学校、高等学校合わせて21回実施し、延べ62名の会員を講師として派遣した。

(3) 表彰事業

会員と外部委員で構成される表彰選考委員会を開催し、優秀経営者賞に1名、優秀起業家賞に1名、社会貢献活動賞に1団体、美しいまちづくり賞に1団体を選定した。

(4) その他の事業

栃木県教育委員会からの依頼に基づき、教員の社会体験研修受入事業、教員採用試験面接委員派遣事業等を例年どおり実施した。

また、栃木県産業振興センターなど関係団体とともに実行委員会を組織し、新春経済団体講演会を企画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、録画による動画配信となった。

4. 講演会事業の運営

一般県民等を対象にした公益目的の演会等を4回開催し、県民の経済問題等への関心を高めた。

5. 会員研修事業・親睦会事業

会員研修事業として、モーニングセミナーを2回開催した。

また、新型コロナウイルス感染拡大により中止となったフェスティバル in スプリング事業の代替として、Webによる「元気発信特別動画」を配信した。

6. 会員の推移

本会の求心力・発信力を高めるため、引き続き入会促進活動を積極的に展開した。令和3年度は、新たに正会員7を迎え、年度末の正会員数は271名となった。

II. 活動状況

1. 総会（法人管理）

6月23日にホテル東日本宇都宮において令和3年度総会を開催した。総会議長には定款第15条に基づき、中津正修筆頭代表理事が選任された。

議案と報告事項は以下のとおりであり、第2号議案の役員の選任では、任期満了に伴い18名の理事と2名の監事の選任について審議された。なお、議案は全て原案通りに可決された。

議事録署名人は、定款第18条に基づき総会議長である中津正修筆頭代表理事が務めた。

	開催日	内 容
1	6月23日	議 題：① 令和2年度事業報告・決算について ② 役員の選任について 報 告：① 令和3年度事業計画・収支予算について ② 幹事の選任について

2. 理事会（法人管理）

定款第26条に基づき筆頭代表理事、代表理事、専務理事及び理事によって構成される理事会を、次のとおり5回開催した。理事会には、当会の業務、財産の状況等を調査、監査する監事が出席した。

また、第2回理事会において、新たに松下正直筆頭代表理事及び喜谷辰夫代表理事が、引き続き平出孝夫専務理事が選任された。

なお、ガバナンス強化の観点から、筆頭代表理事、代表理事及び専務理事の業務執行状況について、4か月を超える間隔で2回以上理事会に報告することが求められており、5月及び12月に行った。

各回の議案及び報告事項は下記のとおりである。

	開催日	内 容
1	5月17日	議 題：① 令和2年度事業報告について ② 令和2年度決算について ③ 令和3年度総会の開催について ④ 幹事の選任について ⑤ 会員の新規入会について 報 告：① 令和2年度下期 理事の業務執行状況について ② 会員の異動について
2	6月23日	議 題：① 筆頭代表理事、代表理事及び専務理事の選定について

		<ul style="list-style-type: none"> ② 名誉理事の委嘱について ③ 特別功労者について ④ 会員の新規入会について
3	10月20日	議 題：① 幹事の選任について ② 会員の新規入会について ③ ウィズコロナにおける社会経済活動の再開について～次なる感染拡大に備えて～（要望） 報 告：① 会員の異動について
4	12月15日	議 題：① 令和4年度予算策定方針について 報 告：① 令和3年度上期 理事の業務執行状況について
5	3月22日	議 題：① 令和4年度事業計画について ② 令和4年度収支予算について ③ 幹事の選任について ④ 会員の新規入会について 報 告：① 会員の異動について

3. 幹事会（法人管理）

幹事会規程に基づき設置した幹事会を、次のとおり5回開催した。

各回の議案及び報告事項は下記のとおりである。

	開催日	内 容
1	5月17日	議 題：① 令和2年度事業報告について ② 令和2年度決算について
2	9月28日 （書面開催）	議 題：① 地域振興委員会の提言書提出について
3	10月15日 （書面開催）	議 題：① ウィズコロナにおける社会経済活動の再開について～次なる感染拡大に備えて～（要望）
4	12月15日	議 題：① 令和4年度予算策定方針について ② 次期委員会テーマ・委員長の選定について 報 告：① 次期研究会テーマ及び代表世話人・会長について ② 令和3年度第5回理事会・幹事会の日程変更について ③ 令和4年度総会、理事会・幹事会等の開催日程に

		について
5	3月22日	議 題：① 令和4年度事業計画について ② 令和4年度収支予算について ③ 提言書について 報 告：① 企画運営委員会委員について ② 令和3年度表彰選考結果について ③ 平成29年度・平成30年度提言フォローアップについて

4. 企画運営委員会（他2：共益事業）

企画運営委員会設置運営要領に基づき、当会の事業を円滑に推進するため企画運営委員会を、次のとおり7回開催した。

各回の議案及び報告事項は下記のとおりである。

	開催日	内 容
1	4月19日	議 題：① 令和3年度サマーセミナーについて ② 常設委員会のあり方検討について 報 告：① 委員会・研究会の活動状況について
2	7月8日	議 題：① 4経済同友会交流会の開催について ② 親睦会事業について ③ 第2回ゴルフ大会の開催について ④ スポーツ観戦事業について ⑤ 常任委員会のあり方検討について
3	9月7日	議 題：① 次年度委員会テーマ選定について 報 告：① 4経済同友会交流会の延期について ② 経済団体新春講演会の開催について ③ スポーツ観戦事業アンケートの集計結果報告
4	11月11日	議 題：① 令和4年度予算策定方針について 報 告：① 新年例会の開催について ② 新委員長会議の開催について ③ 令和3年度報道代表者との意見交換会について ④ 令和4年度5経済同友会教育担当委員会交流会について ⑤ フェスティバル in スプリングの開催について ⑥ 委員会・研究会の活動報告
5	12月7日	議 題：① 次期委員会テーマ、新委員長について ② 令和4年度予算策定方針について

6	2月8日	議 題：① 令和4年度事業計画、収支予算について ② 5 経済同友会教育担当委員会交流会の開催について 報 告：① 常設委員会のあり方検討等について
7	3月8日	議 題：① 令和4年度サマーセミナーの開催について ② 令和4年度ゴルフ大会の開催について ③ 4 経済同友会交流会の開催について ④ 令和4年度企画運営委員会活動計画について 報 告：① 次期企画運営委員会委員について

5. 委員会事業（公1：公益目的事業）

- (1) 産業政策委員会（活動テーマ「活力ある栃木の産業構造を創造する～とちぎの産業の持続的発展を目指して～」）

委員長 内藤 靖

副委員長 荒井 大、小林 博文、清 幹広、関 雅樹、野沢 千

晶

野田 和郎、平野 一昭

事務局担当 内野 宏基

<活動方針>

人口減少・少子高齢化が急速に進展する中、生産年齢人口の減少を補うためにも、デジタル技術の積極的な導入・活用による労働生産性の向上が不可欠である。しかしながら、世界的にみると我が国のデジタル分野の遅れは明らかである。

栃木県は、一人当たりの県民所得が4年連続全国3位と恵まれた環境にあるが、急速かつ不可逆的なデジタル化への対応が遅れば、産業競争力は低下し地域経済の地盤沈下を招きかねない。

産業政策委員会では、デジタル化社会においても本県の産業が成長発展するために必要な方策について、調査研究を行う。

<活動概要>

委員会を「デジタル人材育成」「共同プラットフォームの構築」「DXの推進」の3つのグループに分け、調査研究を行った。その成果を提言書「活力ある栃木の産業を創造する～とちぎの産業の持続的発展を目指して～」として取りまとめた（5月27日知事へ提言書提出予定）。

- ① 栃木県との意見交換会（5月19日）

栃木県総合政策部デジタル戦略課及び産業労働観光部産業政策課の職員を招き、栃木県におけるデジタル人材育成の現状や課題、今後の取組等につい

て、正副委員長と意見交換を行った。

② とちぎビジネスAIセンター視察（7月9日）

正副委員長が、5月に宇都宮市内に開所された「とちぎビジネスAIセンター」を視察し、業務の様々な場面で活用できるAI等を使った機器を実際に体験・体感した。

③ 若手社員等との意見交換会（7月14日）

会員企業でデジタルに携わる若手・中堅社員の持つ課題について意見交換を実施した。経営者層と若手社員等の間にはデジタル化の考え方にギャップがあることが明らかとなった。

(2) 地域振興委員会（活動テーマ「広域連携による新・観光圏の構築」）

委員長 郡司 祐一

副委員長 木内 久生、郡司 成江、酒井 誠、平野 政樹

事務局担当 長谷 智子

<活動方針>

本県は、優れた歴史文化遺産や豊かな観光資源を有しながら、その良さを十分に伝えきれておらず、インバウンドの伸び率は全国平均を下回っている。また新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）により、とりわけ観光業界はコロナ感染防止対策としての「移動制限」や「入国規制」により大きなダメージを受けており、本県の観光業界も非常に厳しい状況にある。

地域振興委員会は、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、本県の立地条件の優位性や交通の利便性を活かしながら、広域連携による新たな観光圏の構築に向け調査研究を行う。

<活動概要>

令和元年度からの3年間にわたり広域連携によるインバウンド誘客やコロナ禍における国内観光誘客策について調査研究を行い、「広域連携による新・観光圏の構築－DISCOVER NORTH OF TOKYO－」として提言書を取りまとめ、栃木県知事に提出した。

① 講演会（オンライン）の開催（7月6日）

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、来訪がストップしているインバウンド客に対するウィズコロナ、アフターコロナにおける観光誘客策を学ぶため、山下真輝氏（株式会社JTB総合研究所 交流戦略部長・主席研究員）をお招きし、ご講演をいただいた。

② 提言書の提出（10月15日）

令和元年度から3年間の活動成果を取りまとめた提言書「広域連携による新・観光圏の構築－DISCOVER NORTH OF TOKYO－」を栃木県知事に提出した。

③ 講演会の開催（12月13日）

インバウンドがコロナ後にどう変わるのか、はっきりとした答えがない中で、テレビ番組等で活躍しているルース・マリー・ジャーマン氏（株式会社ジャーマン・インターナショナル代表取締役社長）をお招きし、ハワイの事例を紹介しながら、今後のインバウンドのトレンドや外国人とのコミュニケーションの取り方、日本に呼び込むアピールポイントに加え、講師ご自身が栃木県の常連になった理由などについて、ご講演をいただいた。

④ 視察「かしましこ」（1月17日）

「広域連携による新・観光圏の構築」をテーマに調査研究を行ってきた当委員会では、本会会員が企画した県を跨いだ観光周遊バスツアーに参加した。当日は、日本遺産に認定されている栃木・茨城両県の焼き物里、益子町と笠間市の観光資源（いちご団地、酒蔵、道の駅など）の視察、地元関係者との意見交換を行った。

(3) 経営問題委員会（活動テーマ「後継者育成、人財育成を考える～企業の持続的成長を目指して～」）

委員長 平野 一昭

副委員長 石川 英明、木内 久生、田村 篤史、内藤 靖、中山 文仁

事務局担当 新井 匡

<活動方針>

中小企業・小規模事業者の事業承継問題は、現在の日本において大変深刻な状況になっている。また、企業の持続的成長のためには、人財の育成・雇用が重要であり、各経営者が事業の将来を見据え、この問題に取り組んでいくことが急務である。そこで、次世代を担う後継者・人財を育成していくためには、どのような対応をしていくべきか。今後の日本企業の持続的成長を目指すために求められる方策について調査研究を行う。

<活動概要>

令和3年度は、次の活動を行うとともに、令和元年度から令和3年度までの3年間の活動内容について、報告書として取りまとめた。

① 講演会の開催（4月21日）

後継者不在による廃業を救済する手段の一つとして近年注目されている

「サーチファンド」の知見を深めるために、日本で初めてサーチファンド・アクセラレーターの事業会社を設立した島津紀子氏（株式会社 Japan Search Fund Accelerator 代表取締役社長）をお招きし、ご講演をいただいた。

② 若者の企業経営に関する意識調査（6月～8月）

企業経営を目指す若者、すなわち次世代の企業経営候補者を育成していくことも事業承継問題の解決につながっていくのではないかと、その意見を踏まえ、宇都宮大学、白鷗大学、作新学院大学に在籍する学生296人に経営に関する意識調査を実施した。

(4) 社会問題委員会（活動テーマ「“健康長寿県 とちぎの実現”～疾病予防・健康づくりに向けて～）

委員長 吉田 元

副委員長 石川 尚子、上野 勝弘、関 雅樹、早川 雄基、森田 一

穂

事務局担当 篠原 隼

<活動方針>

人生100年時代の到来と言われる中で栃木県の平成27年の平均寿命は男性80.10歳（全国42位）、女性86.24歳（全国46位）と全国の中でも下位に低迷しており、この傾向は長期にわたって変化していない。そのような状況を挽回すべく、全ての源泉である「人」の健康に着目し、“健康長寿県 とちぎ”の実現に向けて、予防医療や健康づくりについて調査研究を行う。

<活動概要>

感染症（菌・ウイルス）を起因とする「がん」であれば予防可能なのではないかと、の仮説に基づき、有効性の高い予防法があるにもかかわらず、様々な問題からワクチン接種に関する正しい情報が積極的に発信されてこなかった子宮頸がんに絞って調査研究を行い、その活動成果について、提言書として取りまとめた（5月27日知事へ提言書提出予定）。

① アンケートの実施（4月）

県民のHPVワクチンに対する認知度等を把握するため、医師と一般県民に対して「HPVワクチンに関するアンケート調査」を実施した。医師と一般県民では、HPVワクチンについての認知度に大きな差があった。

② 講演会（オンライン）の開催（6月4日）

子宮頸がんにも有効とされる HPV ワクチンの正しい情報、最新の動向について知見を深めるため、「みんパピ！」で当該ワクチンの情報発信等をされている産婦人科専門医・医学博士の稲葉可奈子氏（みんパピ！みんなで知ろう HPV プロジェクト代表ほか）をお招きし、ワクチンの有効性や安全性などについてご講演をいただいた。

③ 市町村アンケートの実施（9月）

厚生労働省から「ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種の対象者等への周知について」の通知が発出されたことを受け、県内25市町すべてに対し、対応の状況及び内容を確認するためにアンケート調査を実施した。

④ 講演会（オンライン）の開催（11月19日）

健康寿命の延伸につながると期待されているオートファジー研究の第一人者である吉森 保氏（大阪大学大学院医学系研究科教授兼生命機能研究科教授）をお招きし、「ノーベル賞のオートファジーって何？～病気と老化に対抗する細胞の守護者～」と題してご講演をいただいた。※当会第2回講演会として開催

(5) 国際化推進委員会（活動テーマ「グローバル人財に選ばれるとちぎづくり～県内企業の活力に繋がる外国人受入態勢構築に向けて～」）

委員長 石川 尚子

副委員長 郡司 成江、田村 篤史、陳 賢徳、内藤 靖、益子 博美、
吉田 元

事務局担当 篠崎 万友子

<活動方針>

日本全体の労働力不足と労働力の都市部への流出が加速する中で、多様な価値観とバックグラウンドを持つ外国人労働者を受け入れることにより、労働力確保だけでなく、イノベーションやグローバル化の促進にもつながることが期待されている。

このような状況を踏まえ、当委員会では「グローバル人財に選ばれるとちぎづくり～県内企業の活力に繋がる外国人受入態勢構築に向けて～」をテーマに調査研究を行う。

<活動概要>

令和3年度は、次の活動を行うとともに、令和元年度から令和3年度までの3年間の活動成果について、提言書として取りまとめた（5月27日知事へ提言書提出予定）。

① 講演会の開催（6月24日）

外国人材受け入れの課題解決を探るために、宇都宮大学国際学部教授松金公正氏に「持続可能な地域創生につながる外国人の採用・定着・共生について」と題して、県内の留学生数の推移、在籍先や就職先、留学生の思いなどについて、ご講演をいただいた。

② 本県在住外国人の意識調査（9月～10月）

外国人が定着し活躍する上での障害やニーズを探るため、会員企業や大学等の協力を得て、会員企業が雇用する外国人従業員51名と留学生等7名に対して、面接及びオンラインによるヒアリング調査を実施した。

(6) 社会貢献活動推進委員会（活動テーマ「持続可能な社会を創造する担い手の育成～産学官連携体制の構築に向けて～」）

委員長 田村 晃

副委員長 黒崎 めぐみ、古口 勇二、武田 浩之、名村 史絵

事務局担当 高橋 章乃

<活動方針>

「持続可能な社会を創造する担い手の育成」をテーマに教育先進県の事例を参考にしながら、本県の抱える課題を抽出し、次代を担う優秀な若者が栃木に育ち、就職を考える様々な場面において、「地元愛」が契機となり「地元への就職」がその選択肢の一つになることを目標に、キャリア教育の充実策について調査研究を行うとともに、講師派遣など社会貢献事業を実施する。

<活動概要>

令和3年度は、次の活動を行うとともに、令和元年度から令和3年度までの3年間の活動内容について、報告書として取りまとめた。

① 委員会活動

秋田県大館市は、学力・体力的にも全国トップにあり、キャリア教育とふるさと教育を融合した「ふるさとキャリア教育」を実践し成果を挙げている。同委員会では、先進的なキャリア教育に取り組んでいる同市内の小中学校の公開授業や講演会をオンラインにより視聴した。

また、本県の高等学校におけるキャリア教育の現状を把握するため、インターシップや県内企業に関する研究の実施状況、卒業生の進路先について、県内全ての高等学校を対象にアンケート調査を実施した。

② 講師派遣事業の実施（通年）

将来を担う「人財」の育成のための具体的な行動として、講師派遣事業を

実施した。教育現場に出向き、学生や保護者・教員等を対象に出張授業・演会を実施した。延べ小中学校14校、高等学校7校合わせて21講演を実施し、延べ62名の会員講師を派遣した。

② 「とちぎ子どもの未来創造大学」連携事業

栃木県教育委員会生涯学習課が実施している、「とちぎ子どもの未来創造大学」事業について、より充実したキャリア教育支援体制を整えるため、会員に対し事業の柱となる「本物」体験講座の開設について協力を依頼した。

(7) 行財政改革委員会（活動テーマ「行財政の効率化と適正化～人口動態の変化に向けた方策～」）

委員長 岩見 高士

副委員長 大曲 圭一郎、深澤 雄一、水沼 孝夫

事務局担当 内野 宏基

<活動方針>

日本では少子高齢化が進み、本格的な人口減少社会を迎えている。勤労世代の激減に伴い社会の支え手が不足し、税収不足等の諸問題が顕在化することにより、社会は大きな変化を余儀なくされる。そのような状況下、行財政は一層の効率化と適正化が求められることから、行財政の現状を分析して、効率化策等について調査研究を行っていく。

<活動概要>

令和3年度は、次の活動を行うとともに、令和元年度から令和3年度までの3年間の活動内容について、報告書として取りまとめた。

① 栃木県との意見交換会（6月16日）

令和2年度に本委員会が実施した県内市町 WEB アンケートの結果を基に、栃木県県土整備部、総合政策部、経営管理部、保健福祉部の関係課と地域交通の整備や道路・橋・水道等の社会インフラの長寿命化や人材育成の取組、県・市町のデジタル化の取組などについて意見交換を行った。

② 講演会（オンライン）の開催（8月12日）

総務省自治行政局市町村課の大熊智美氏から「広域連携の現状と必要性」と題して講演をいただき、地方公共団体を取り巻く現状や課題などについて調査研究を行った。

(8) 未来経営研究会（活動テーマ『ブランド力構築』～選ばれる栃木県企業になるために～）

代表世話人 古口 勇二
副代表世話人 安藤 寛樹、猪瀬 義弘、佐藤 伸之、佐山 良一、
関 雅樹、中村 雄三
事務局担当 新井 匡

<活動方針>

い
後
れ
れ

近年、人口減少を背景に地方企業は労働力を確保することが困難になって
る。栃木県は「MADE IN とちぎ」を担う製造業等が非常に多くその魅力を今
継続して発信していくことにより、栃木県企業としてのブランド力が構築さ
れていくものとする。これらを踏まえ、多くの人々に栃木県企業として選ば
るためにはどうするべきか。「強み」を得るための視察を積極的に行い、企業
ブランド構築に必要な学びを得る。

<活動概要>

令和3年度は、次の活動を行うとともに、令和元年度から令和3年度までの
3年間の活動内容について、報告書として取りまとめた。

① 講演会の開催（5月27日）

株式会社ももと代表取締役の宮本 誠氏を講師に招き、「忘れられた栃木の名
将『藤原秀郷』をヒーローに！～栃木の歴史コンテンツ創出による地域創
生～」と題して、平安時代に本県で活躍した藤原秀郷を広めることでシビ
ックプライドの醸成を目指す活動についての講演をいただいた。

② 講演会の開催（12月1日）

栃木マイクロブルワリー代表横須賀貞夫氏を講師に招き、「タウンマイク
ロブルワリー文化への道～あなたの街角に美味しい出来立て生ビール
を・・・～」と題して、全国各地で人気が高まっているクラフトビールにつ
いての講演をいただいた。

(9) 栃木交流研究会（活動テーマ「栃木の歴史と文化に触れる」）

会 長 大曲 圭一郎

副会長 北上 和博、黒崎めぐみ、小嶋 浩志、小林 博文、佐藤 和

幸

清 幹広、野沢 千晶

事務局担当 渡邊 健

<活動方針>

栃木県の歴史、文化、観光等に関する調査・研究を行い、「栃木の魅力」について情報を発信していく。

<活動概要>

令和3年度は、次の活動を行うとともに、令和元年度から令和3年度までの3年間の活動内容について、報告書として取りまとめた。

① 視察「栃木市方面」（12月14日）

・視察先：栃木市内

県庁堀、横山郷土館、塚田歴史伝説館の市内史跡を栃木市観光協会のボランティアガイドの案内により視察を行った。その後、創業110年の歴史を持ち文人墨客に愛されてきた割烹料亭「料亭仲乃家」において、野菜苗生産・卸業として2010年に市内で創業したパナプラス㈱の小竹氏から「女性が活躍する農業分野」と題して、ご講演をいただいた。講演終了後、老舗料亭で地元の味覚や滋味あふれる懐石料理を堪能した。

② ラジオ番組 RADIO BERRY「Tuesday Talking Bar」の制作・放送

転勤族から見た栃木の自然、文化、食など、栃木について語り合い、多くの方に栃木の魅力を再発見してもらうことを目的に、ラジオ番組を制作し、13回（13会員）放送した。

(10) サマーセミナー

新型コロナウイルスの感染拡大により消費マインドが変化している中、アフターコロナにおけるパラダイムチェンジや経済の動向について、理解を深める目的でセミナーを次のとおり実施した。

開催日：7月2日（金）

場 所：ホテル東日本宇都宮

内 容：第1部【講演会】

演 題 「消費と企業の今を読み解き、コロナの先を考えよう」

講 師 鈴木 哲也 氏（日経MJ編集長）

第2部【会員企業の事例発表】

① 大田垣一郎 氏（㈱カンセキ 代表取締役社長）

② 清 幹広 氏（東京ガス㈱ 宇都宮支社長）

③ 新井 孝則 氏（栃木トヨタ自動車㈱ 代表取締役社長）

参加者：68名

(11) 広報活動

当会の活動について、広くかつ分かりやすく発信するため、季刊誌「同友」（発行部数各520部）を発行し、会員をはじめとする企業経営者や有識者、メディア関係者、関係団体、本県出身国会議員、県議会議員、行政担当者等へ配付した。

また、当会の公益事業活動情報を広く県民へ発信するため、ホームページの内容の充実に取り組んだ。

6. 社会貢献事業（公2：公益目的事業）

（1）災害時応急対策業務実施協定事業

県内外において災害が発生し、支援物資が必要となった場合に、会員企業の持つ物資等を栃木県からの要請に基づき、有償・無償にて提供するため、県と「災害時における応急対策業務の実施に関する協定」を締結している。

（2）ボランティアプロフェッサー事業

平成24年3月28日に締結した「大学コンソーシアムとちぎと社団法人栃木県経済同友会との講師派遣事業に関する協定」に基づき、宇都宮大学（大学院を含む）、作新学院大学及び白鷗大学の3校へ延べ17名の講師を派遣した。

（3）教員の社会体験研修受入事業

栃木県教育委員会からの依頼に基づき、教員3名を3社・団体（本会を含む）の会員企業等が受け入れ、1年間の社会体験研修を実施した。

（4）教員採用試験面接委員派遣事業

栃木県教育委員会からの依頼に基づき、公立学校新規採用教員選考試験面接委員として会員企業42社から延べ89名の面接委員を次のとおり派遣した。

開催日：8月20日（金）～22日（日）

場 所：栃木県総合教育センター、宇都宮工業高等学校

（5）講師派遣事業

次世代を担う若者を健全でたくましく育成していくため、小中学校・高等学校で合わせて21講演を実施し、延べ62名を講師として派遣した。

（6）表彰事業

本県の発展、産業の振興や地域活性化に貢献している経営者等を表彰するため、表彰事業対象者の推薦について新聞等で広く呼びかけ、3月に各賞受賞者を決定するための選考委員会を開催した。選考結果は次のとおり。

① 優秀経営者賞 新家由久 氏（デクセリアルズ㈱ 代表取締役社長）

② 優秀起業家賞 岡部正治 氏（㈱TMC 経営支援センター 代表取締役会長）

- ③ 社会貢献活動賞 特定非営利活動法人ぱんだのしっぽ
- ④ 美しいまちづくり賞 一般社団法人もてぎツーリスト

(7) 新春経済団体講演会事業（配信）

栃木県産業振興センター、栃木県商工会議所連合会、栃木県中小企業団体中央会等17団体からなる経済団体新春講演会実行委員会（委員長：松下正直筆頭代表理事）は、本県産業の発展に資することを目的に、次のとおり新春経済講演会を配信した。

配信日：1月26日（水）～ 2月10日（木）

演 題：2022年日本経済の展望

～コロナショック後の地域企業の経営戦略～

講 師：門倉 貴史 氏（BRICs 経済研究所代表）

視聴数：171回

7. 講演会事業（公3：公益目的事業）

本県産業の振興その他活力ある地域社会の形成を図るため、広く一般県民を対象として、経済問題や社会問題の専門家や学識経験者等を招いた講演会等を4回開催した。

① 第1回講演会

開催日：6月23日（水）

演 題：変革期における日本経済の現状と今後の展望

講 師：中村 直文 氏（日本経済新聞社 編集委員兼論説委員）

参加者：116名

② 第2回講演会（オンライン開催）

開催日：11月19日（金）

演 題：ノーベル賞のオートファジーって何？

～病気と老化に対抗する細胞の守護者～

講 師：吉森 保 氏（大阪大学大学院医学系研究科教授兼生命機能研究科教授）

接続数：100回線

③ 新春経済団体講演会（再掲）

配信日：1月26日（水）～ 2月10日（木）

演 題：2022年日本経済の展望

～コロナショック後の地域企業の経営戦略～

講 師：門倉 貴史 氏（BRICs 経済研究所代表）

視聴数：171回

④ 第3回講演会（オンライン開催）

開催日：3月4日（金）

演題：コロナ危機と政策対応

～コロナ危機下での経済対策、これからの日本はどう動くか～

講師：小林 慶一郎 氏（慶應義塾大学経済学部教授）

参加者：53名

8. 会員研修事業（他1：共益事業）

(1) モーニングセミナー

1月と8月を除く毎月第2水曜日に実施を計画（年10回開催）していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、2回の開催に留まった。

	開催日	内 容	参加者
1	4月14日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—
2	5月12日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—
3	6月9日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—
4	7月14日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—
5	9月8日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—
6	10月13日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—
7	11月10日	演題：地域連携プラットフォーム：地方創生と大学 講師：宇都宮大学 学長 池田 宰 氏	65名
8	12月13日	演題：経済対策といちご一会とちぎ国体・とちぎ大会について 講師：栃木県 副知事 末永 洋之 氏	65名
9	2月9日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—
10	3月9日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	—

(2) サマーセミナー

新型コロナウイルス感染症の影響により、1日間の日程に規模縮小の上、宇都宮市内で講演会と会員企業による事例発表を実施した。

(3) 新年例会

筆頭代表理事から年頭所感、代表理事から委員会・研究会活動指針・テーマ発表、新委員長等から所信表明があった。

日 時：1月7日（金）

会 場：ホテル東日本宇都宮

参加者：109名

(4) 全国経済同友会事業

① 第33回全国経済同友会セミナー

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンライン開催となった。

② 2021年度全国経済同友会事務局長会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンライン開催となった。

③ 2021年度全国経済同友会代表幹事円卓会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

9. 親睦会事業（他2：共益事業）

会員間の親睦を図る目的で、ゴルフ大会及びプロスポーツ観戦事業を実施した。

(1) ゴルフ大会

7月（市貝町）と10月（栃木市）に開催し、合計57名が参加した。

(2) サマーセミナーエクスカーション

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためサマーセミナー事業を縮小し1日間の開催とし、翌日のエクスカーションは実施しなかった。

(3) フェスティバル in スプリング

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたが、代替事業として「元気発信特別動画」を配信した。

(4) プロスポーツ観戦

会員アンケートを実施し、栃木日光アイスバックス及び宇都宮ブレックスの試合観戦を企画したが、宇都宮ブレックス戦については選手の新型コロナウイルス感染により、直前に試合が中止となった。

Ⅲ. 会合別参加人数

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

	会合名	会合数	参加者
1	総会	1	109
2	理事会	5	62
3	幹事会	5	166
4	役員選考委員会	1	12
5	企画運営委員会	7	117
6	産業政策委員会	6	183
7	同委員会正副委員長会議	10	97
8	地域振興委員会	4	124
9	同委員会正副委員長スタッフ会議	6	78
10	経営問題委員会	2	71
11	同委員会正副委員長会議	4	36
12	社会問題委員会	4	130
13	同委員会正副委員長会議	4	18
14	国際化推進委員会	3	75
15	同委員会正副委員長会議	5	25
16	社会貢献活動推進委員会	3	26
17	同委員会正副委員長会議	3	17
18	講師派遣事業	21	62
19	行財政改革委員会	2	27
20	同委員会正副委員長・スタッフ会議	6	75
21	未来経営研究会例会	2	19
22	同研究会世話人会	2	56
23	栃木交流研究会	2	44
24	同研究会正副会長会議	1	8
25	プロスポーツホームゲーム観戦事業	1	13
26	サマーセミナー	1	68
27	オータムセミナーエクスカージョン	0	0
28	フェスティバル in スプリング	0	0
29	ボランティアプロフェッサー事業	17	17

30	教員採用試験面接委員派遣事業	3	89
31	表彰選考委員会	1	10
32	講演会	4	440
33	モーニングセミナー	2	130
34	新年例会	1	109
35	全国経済同友会セミナー（オンライン）	1	43
36	ゴルフ大会	2	57
	合 計	142	2,613

IV. 会員の推移

1. 平成29年度から令和3年度までの5年間における会員の推移

	年 度	期首	増加	減少	期末
1	平成29年度	269	22	15	276
2	平成30年度	276	10	7	279
3	令和元年度	279	9	11	277
4	令和2年度	277	5	8	274
5	令和3年度	274	7	10	271
	合 計		53	51	

2. 会員増強事業

会員増強活動の結果、令和3年度は次のとおり7名が会員となった。

(会員)

(敬称略・申込順)

	入会者	企業(団体)名	役職名
1	くろさわ たつお 黒澤 達夫	東京電力エナジーパートナー(株)	販売本部北関東本部 栃木エリア総括責任者
2	たかはし けん 高橋 研	学校法人大原学園 大原簿記情報ビジネス医療専門学校宇都宮校 大原スポーツ公務員専門学校宇都宮校	校長
3	おぬま まさのり 小沼 正則	絆アセットマネジメント(株)	代表取締役
4	おの のぶゆき 小野 伸幸	平田機工(株)関東事業部	事業部長
5	ひるた かずひこ 蛭田 和彦	フィリップ証券(株)	ウェルスマネジメント 事業部長
6	わたなべ えいじ 渡辺 英治	(株)みずほ銀行宇都宮支店	支店長
7	ふくしま のりはる 福島 範治	鹿沼グループ(株)鹿沼カントリー倶楽部	代表取締役

(準会員)

(敬称略・申込順)

順)

	入会者	企業(団体)名	役職名
1	なかむら だいすけ 中村 大輔	(株)アクティチャレンジ	専務取締役

3. 会員の異動

(1) 会員の交代について

①理事の交代

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
1	えんどう かつみ 遠藤 克実	本田技研工業(株) パワートレインユニット製造部	製造部長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	なかお しょういち 中尾 彰一	本田技研工業(株) パワートレインユニット製造部	製造部長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
2	なかむら たくや 中村 卓也	日産自動車(株)	理事 栃木工場長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	きくち えいじ 菊池 英司	日産自動車(株)	理事 栃木工場長

②幹事の交代

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
1	わたなべ はじめ 渡邊 肇	パナソニック(株)関越支店	支店長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	かたくら しんいち 片倉 慎一	パナソニック(株)関越支店	支店長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
2	きくち まさとし 菊池 正敏	とちぎんTT証券(株)	代表取締役社長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	しもやま こうじ 下山 孝治	とちぎんTT証券(株)	代表取締役社長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
3	かねこ ふみひこ 金子 史彦	東京電力パワーグリッド(株) 栃木総支社	栃木総支社長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	せと はるひこ 瀬戸 晴彦	東京電力パワーグリッド(株) 栃木総支社	栃木総支社長

③理事・幹事以外の会員の交代

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
1	のうみ よしひろ 能美 慶弘	東洋紡フィルムソリューション(株)	代表取締役社長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	こせき まさふみ 古関 雅文	東洋紡(株) 宇都宮工場	工場長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
2	あずま じゅんじ 東 順治	日本通運(株) 宇都宮支店	支店長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	わしお ひでし 鷺尾 英司	日本通運(株) 宇都宮支店	支店長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
3	あかつか 赤塚 しげる 茂	野村証券(株)宇都宮支店	支店長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	かわさき 川崎 たけお 健郎	野村証券(株)宇都宮支店	支店長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
4	とだ 戸田 ひろし 博之	S M B C 日興証券(株) 宇都宮支店	支店長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	ひとみ 人見 かずひろ 和浩	S M B C 日興証券(株) 宇都宮支店	支店長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
5	えんどう 遠藤 てつや 哲也	富士通(株) 栃木支店	支店長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	しもだ 下田 あつし 篤	富士通 Japan(株) 栃木支社	支社長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
6	こまた 小又 まさたか 正高	(株)あしぎん総合研究所	代表取締役社長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	あらい 荒井 ひろし 大	(株)あしぎん総合研究所	代表取締役社長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
7	やまもと まさくに 山本 昌邦	栃木レザー(株)	代表取締役

変更後

	氏名	企業名	役職名
	おそざわ あつし 遅澤 敦史	栃木レザー(株)	専務取締役

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
8	よこた けいすけ 横田 慶介	(株)三菱UFJ銀行 大宮支店	支店長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	きだ こうじ 木田 耕司	(株)三菱UFJ銀行 大宮支店	支店長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
9	ふじた とうきちろう 藤田 藤吉郎	(株)大林組 関東支店 栃木営業所	所長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	まつど ひろみち 松戸 浩道	(株)大林組 関東支店 栃木営業所	所長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
10	のむら ただし 野村 禎	(株)近畿日本ツーリスト関東 宇都宮支店	支店長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	なかむら えいじ 中村 英二	(株)近畿日本ツーリスト関東 宇都宮支店	支店長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
11	おおぶ ひろし 大部 浩	(株)常陽銀行 宇都宮支店	支店長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	こまつ かずひろ 小松 和広	(株)常陽銀行 宇都宮支店	支店長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
12	いのうえ みつお 井上 光夫	(株)井上総合印刷	代表取締役会長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	いのうえ かよこ 井上 加容子	(株)井上総合印刷	代表取締役社長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
13	えんどう さかえ 遠藤 栄	遠藤食品(株)	取締役会長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	えんどう えいいち 遠藤 栄一	遠藤食品(株)	代表取締役社長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
14	ひらさわ みちひこ 平澤 道彦	足利興業(株)	代表取締役社長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	すぎやま みつお 杉山 充男	足利興業(株)	代表取締役社長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
15	くろさわ たつお 黒澤 達夫	東京電力エナジーパートナー(株)	販売本部北関東本部 栃木エリア総括責任者

変更後

	氏名	企業名	役職名
	いがらし つとむ 五十嵐 勉	東京電力エナジーパートナー(株)	販売本部北関東本部 栃木エリア担当部長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
16	でぐち ゆきひろ 出口 幸宏	麒麟ビール(株) 栃木支店	支店長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	うちま よしひで 内濱 嘉英	麒麟ビール(株) 栃木支店	支店長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
17	きくの としゆき 菊野 利幸	みずほ証券(株) 宇都宮支店	支店長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	うつのみや たけし 宇都宮 毅	みずほ証券(株) 宇都宮支店	支店長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
18	たにぐち まさゆき 谷口 昌幸	(株)大塚商会 宇都宮支店	支店長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	みやした ゆきお 宮下 幸夫	(株)大塚商会 宇都宮支店	支店長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
19	いりたに 入谷 孝雄	宮パーツ(株)	代表取締役会長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	いりたに 入谷 利英	宮パーツ(株)	代表取締役社長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
20	たでぬま 蓼沼 つねお 恒男	三好砒業(株)	代表取締役社長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	たでぬま 蓼沼 けんいち 憲一	三好砒業(株)	取締役

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
21	ひらの 平野 まさき 政樹	金谷ホテル(株)	代表取締役社長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	まるやま 丸山 まさと 真人	金谷ホテル(株)	代表取締役会長兼社長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
22	だい 臺 まさゆき 容之	(株)日本旅行 宇都宮支店	支店長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	たかはし 高橋 けんいち 健一	(株)日本旅行 宇都宮支店	支店長

(2) 特別会員の交代

①大学等の長の交代

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
1	いしだ ともやす 石田 朋靖	宇都宮大学	学長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	いけだ つかさ 池田 幸	宇都宮大学	学長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
2	おくしま たかやす 奥島 孝康	白鷗大学	学長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	きたやま おさむ 北山 修	白鷗大学	学長

変更前

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
3	なかむら ゆきひろ 中村 幸弘	國學院大學栃木短期大学	学長

変更後

	氏名	企業名	役職名
	はやしだ たかかず 林田 孝和	國學院大學栃木短期大学	学長

(3) 会員の退会

(敬称略・届出順)

	氏名	企業名	役職名
1	おおはし じろう 大橋 次郎	(株)山仁	代表取締役専務
2	あおき えいいち 青木 英一	(株)毎日新聞社	宇都宮支局長
3	いそやま さもん 磯山 左門	アクリーグ(株)	代表取締役社長
4	ひらいで たかし 平出 孝司	(有)エフ・エフ・ヒライデ	取締役会長
5	ほりかわ のりこ 堀川 典子	東野タクシー(株)	代表取締役
6	かわだ ただひろ 川田 忠裕	川田工業(株)	代表取締役社長
7	なかむら たさぶろう 中村 太三郎	(株)宇都宮グランドホテル	代表取締役
8	こばやし やすひこ 小林 保彦	(株)宮市	代表取締役社長
9	ふじい けんぞう 藤井 賢三	(株)電通東日本 さいたま支社	部長
10	きむら ゆきお 木村 幸男	(株)キャム	代表取締役

(4) 準会員の退会

(敬称略)

	氏名	企業名	役職名
1	えんどう すすむ 遠藤 進		
2	いのうえ かよこ 井上 加容子	(株)井上総合印刷	代表取締役社長
3	いりたに としひで 入谷 利英	宮パーツ(株)	代表取締役社長

※井上加容子氏、入谷利英氏は、会員の交代により会員に変更。